



新型コロナウイルス Novel Coronavirus : nCoV)

関連肺炎(武漢肺炎)のこれから



医療法人社団 秀皓会 理事長 船本 全信

今回も武漢肺炎について、「これから」を中心にお話したいと思います。依然として全世界で猛威を奮っていますが、幸い日本では、皆さんの努力で発症や死亡数(人口比で英国の 1/200!)が低く抑えられています。これは、欧米での死者が、主に劣悪な生活環境に住む人達が中心で、その点でも平均的に高い生活レベルを誇る日本に居住していることを感謝しなければいけません。また先日、東京大学などの研究者によって日本人の免疫反応を詳しく調べた結果、驚くべきことが報告されました。それは、今回感染した患者の免疫変動パターンを検討したところ、一部の患者において、新型コロナウイルスに対する免疫を「既に」持っていたことが判明しました。2003年に流行したコロナウイルスの一種である SARS の発生後、その弱毒性コロナウイルスが「断続的」に東アジアで発生(いわゆる「風土病」です)し、それが免疫獲得を助けるワクチン効果となっていた可能性を報告しています。もし今回の研究結果が事実ならば、風土病となったコロナウイルスが、日本人に新型コロナウイルスと戦うための免疫学習の機会を、「あらかじめ」与えてくれたこととなり、それが日本と欧米の著明な死亡数の違いとなった可能性です。とはいっても、あくまでもごく一部のデータですので、可能性があるというレベルです。一旦は沈静化したかに見えても、この秋冬には再燃していわゆる「第2波」が襲ってくる可能性が示唆されています。そのうえで、気になる今後についてお話したいと思います。

① ワクチンについて

今年度末にかけて、色々なワクチンの治験が始まると思われます。治験というのは、ワクチン投与にてウイルスに対する抗体を誘導し、感染症に対する免疫を獲得する効果を確認することです。有効なワクチンの接種は、早くても来年以降になると思います。ワクチンの理想としては、「感染防御」ですが、ウイルスは常に変異するため、インフルエンザワクチン同様、「悪化抑制」する目的で、毎年接種する必要があると思います。

② 検査について

1. PCR 検査:未だに、「全例・国民にPCR検査が必要だ!」と吠えている頭の痛いコメンテーターや学者がいます。PCR検査というのは、その瞬間の咽頭粘膜のウイルスを「増幅(増量)」して検出しやすくしているだけです。サンプル量が少なくても、検出できるといった点で有用ですが、偽陽性と偽陰性はどうしても出てしまうため、約70%の的中率です。年齢により重症度は変わるものの、8割は軽症患者です。ですので、臨床経過を注意しつつですが、リスクの低い患者は、乱暴な言い方ですが「放っとけばいい」のです。呼吸困難など悪化の兆しがあれば、胸部CTを行い間質性肺炎像を見つけたら、次の治療ステップに入ります。他疾患でも間質性肺炎は来すので、「鑑別のために」ここでPCR検査が必要となります。CT検査が簡単にできない海外(CT機器の30%が日本に集中!)とは、真逆の対応ですが、この方式の有用性が海外でも認められてきています。
2. 抗体検査:血液検査で簡単に出来ます。これは、「過去に感染したか」の判定に有用です。「陽性」であれば、次に感染しても悪化しにくいと考えます。採血はクリニックでも安全・簡単に出来ますし、また一度に大量の検体を処理できるのでスクリーニングに有用です。例えば、第2波が来る前に検査して、抗体「陰性」者は感染・悪化リスク高いため、行動パターンの制御に役立ちます。

(裏面へ続く→)

3. 抗原検査:インフルエンザ検査キット同様に、咽頭に増殖したウイルスの有無を確認します。PCR 検査と違って増幅して判定する検査ではないので、十分なサンプルがなければ偽陰性となってしまいます。ただ、陽性であれば「新規」感染者ですので、濃厚接触者とともに隔離・観察対象となります。しかし、これは PCR 検査同様、特別な防護服が必要なので、クリニックレベルで簡単に出来る検査ではないです。

③ 治療について

治療薬としては、ウイルス増殖を抑える薬(下記 1 から 3)と、呼吸不全などの重症化を改善する薬(下記 4 から)とに大別されます。

1. レムデシビル:エボラ出血熱の治療薬。国内初の承認薬、重症者が対象。
2. ファビピラビル:インフルエンザ治療薬。催奇形性が言われていますが、きちんと避妊すれば問題なし。
3. その他、吸入ステロイドやタンパク分解酵素阻害薬・抗寄生虫薬なども候補です。
4. トシリズマブ:免疫の暴走(サイトカインストーム)の原因となる情報伝達物質の1種IL-6を抑える受容体阻害薬
5. バリシチニブ:上記情報伝達物質の細胞内情報を伝達するJAKを阻害する薬剤
6. その他抗がん剤なども候補に挙がっています。

注意点ですが、多くの患者が今後も見込まれる状況では、他国で開発された薬は、「自国優先」に投与される と考えましょう。ですので、上記のうち下線の薬は日本開発の薬なので、この薬がより有効性を示し安定供給されることを期待しましょう。

④ 終息について

冒頭に書いたように、恐らく全世界において定期的に流行するインフルエンザの様になると思います。例年、ワクチンや薬が存在するインフルエンザであっても約1万人が関連死しています。しかし、ワクチンも薬もない新型コロナウイルスの死亡者は、現在のところ 800 人余りと非常に低く抑えられています。致死率を左右するのは基礎疾患と喫煙です。であるならば、体調管理をしっかりと行い(しつこくてすみませんが、糖質制限がベストです)、禁煙をすれば少しでもリスクが減らせると思います。

自粛しすぎて経済活動が停滞すると、不況による影響が出てきますので、「正しく恐れて、冷静に生活」する必要があります。新型コロナウイルスは、紫外線に弱く夏の日差しでは急速に活性が低下するので、屋外は比較的安心ですので運動不足を解消しましょう。「3密(密接・密集・密閉)」を気にせず、安心して食事や映画・買い物に行ける日が、早く来て欲しいものですね。最後にもう一度、まだまだ撲滅してません！

警戒を緩めず、洗手防衛を！！

【ふなもとクリニック エコー検査予定】

6月の予定

井上先生	6(土)午後・13(土)午前・20(土)午後
杉山先生	休み
池田先生	9(火)・23(火)
山本先生	4(木) 午前

7月の予定

井上先生	4(土)午前/午後・25(土)午前/午後
杉山先生	未定
池田先生	14(火)・28(火)
山本先生	11(土)午前/午後・30(木)午前/午後



禁煙外来

“そろそろタバコをやめたい”
とっておられるかた、
当院では禁煙外来も行って
おります。
是非ご相談下さい。



◆ふなもとクリニック 〒663-8165 西宮市甲子園浦風町 7-13 tel. 0798-81-1192

◆ふじもとクリニック 〒663-8165 西宮市久保町 7-35 レインボー酒蔵通 1F tel. 0798-42-7692

◆居宅介護支援事業所 ふくろう 〒663-8165 西宮市甲子園浦風町 6-20

◆デイサービスセンター ふくろう tel. 0798-40-9500(代表) 0798-49-7670(デイ直通)